

2016年3月1日

報道関係各位

株式会社東京流通センター

TRCが40年以上に亘り培ったノウハウを結集した「次世代・都市型物流施設」
東京流通センター 物流ビル新B棟（仮称）本日着工

— 都心部有数の大規模建替えプロジェクト —

株式会社東京流通センター（本社：東京都大田区、代表取締役社長 多賀啓二）（以下TRC）は、大田区平和島六丁目にて計画を進めている「物流ビル新B棟（仮称）（以下新B棟）」新築工事について、本日（2016年3月1日）地鎮祭を執り行い、工事に着手しましたので、お知らせ致します。竣工はTRC創立50周年となる2017年の夏頃を予定しております。

1. 計画概要等

<計画概要>

- ・所在地：東京都大田区平和島六丁目1番1号
- ・竣工：2017年夏頃（予定）
- ・設計・施工：株式会社大林組
- ・プロジェクトマネジメント支援：三菱地所株式会社
- ・設計監修・工事監理監修：株式会社三菱地所設計

<建物概要>

- ・構造：SRC-S造 免震構造（ランプウェイ含む）
- ・階層：6階建
- ・延床面積：約171,300㎡（約51,800坪）
- ・賃貸面積：約130,500㎡（約39,500坪）
- ・大型車両対応ランプウェイ：2基（1～6階）
- ・賃貸借区画：約430坪～フロア最大約6,700坪
- ・床荷重：1.5t/㎡
- ・有効天井高：梁下5.5m
- ・柱スパン：10m×11m

<立地特性等>

- ・羽田空港、大井埠頭、主要幹線道路、鉄道駅に良好なアクセスであり、都心至近の物流インフラとして圧倒的な立地優位性を有する
- ・東京モノレール「流通センター」駅前に立地し、JR大森駅からのバス利用も可能で、通

勤に至便な立地であるため、入居テナントにおける就労者確保に優位性がある

- ・構内では常時 6,500 名を超える人が働き、多くの人が集まる「街」として、郵便局、コンビニエンスストア、クリニック、歯科、ドラッグストア、飲食店舗などの施設を揃え、働きやすい職場環境を提供

2. 新 B 棟の建設を通じて TRC が目指すもの

- ・日々進化する物流の高度化・多様化を睨み、また東日本大震災以後に一層注目された物流の重要性に鑑み、更なる安全・安心を提供
- ・テナント各社に対してより高い物流効率を提供し、「首都圏流通機能の強化」「東京の国際競争力の向上」に貢献
- ・新 B 棟新築工事を嚆矢とする構内再開発を「第二の創業期」と位置づけ、TRC がこれまで 40 年以上に亘り培ったノウハウをベースとして、都市流通を支え、「安全・安心」、「豊かさ」の創出のために時代に対応した「街」づくりを推進
- ・以下 5 つのテーマを追求した「次世代・都市型物流施設」とする
 - ①「将来を見据えたニーズ」への対応
 - ②「安全・安心」の追求
 - ③「入居企業における災害時の事業継続」をサポート
 - ④「働く人々を意識した構内環境」の充実
 - ⑤「持続可能な社会の実現」に向けた環境への配慮

3. 新 B 棟 外観イメージパース



※上記は完成イメージであり、実際とは異なります

4. 本件に関するお問い合わせ先

株式会社東京流通センター 施設部 新棟建設室

03-3767-2180

shisetsu@trc-inc.co.jp

5. 東京流通センター位置図



以上